

2011 国際森林年について

1. 国際森林年とは

2006年の国連総会決議により、2011年は国際森林年とされている。国際森林年は世界中の森林の持続可能な経営、保全、持続可能な利用の重要性に対する認識を高めることを目的にするもので、各国に対し積極的な取組や国内委員会の設置が要請されている。なお、前回の国際森林年は1985年。

2. 今後の予定

- (1) 2010年12月に石川県で行われる国際生物多様性年クロージ
ングイベントの際、国際森林年とのブリッジングセレモニーを実施。
- (2) 第9回国連森林フォーラム（UNFF）会合（国連本部、
2011年1月～2月開催）の際、国際森林年を公式に立ち上げ。
- (3) 第66回国連総会（2011年9月開催）において、一日のみの
特別ハイレベル・イベントを開催。

（参考）国際森林年のロゴマークについて

- (1) 2010年7月20日、国連森林フォーラム（UNFF）事務局
がロゴマークを発表。
- (2) ロゴマークは、「Forests for People
（人々のための森林）」というテーマを伝
えるもので、世界の森林の持続可能な経営、
保全等における人間の中心的役割をたた
えるもの。また、人々の居住環境や食料・
水等の供給、生物多様性保全、気候変動緩
和といった森林の多面的機能が人類の生
存に欠かせないものであることを訴える
デザイン。

